



進 交 会 報

Y 校版


～ 人と進んで交わり、共に資質を高めよ。～



進交会報の分冊を試行

今年度は試験的にY校版と市大版の分冊発行を行っています。

皆さまには、分冊に関するアンケート（QRコード、メール、はがきのいずれかで回答）をお願いします。



**令和4年度
進交会新年懇親会のお知らせ**

日時 令和4年1月29日（土）
午前11時30分開宴

会場 崎陽軒本店 4階

※コロナ感染状況により中止するごともあります。必ず、電話、ホームページ等で事前にお問い合わせください。

〔目次〕

理事長・校長・Y校会会長挨拶	二
進交会だより	三
(株)アイスコ IPO実現	四
日本史のア・プリアリ	五
Y校だより	七
同期会だより	一七
同期会開催状況	一四
Y校OB会だより	一
Y校会だより	一
Y校卒業生進路状況	一五
訃報・編集後記	一六

発行 一般社団法人 進交会

進交会は、横浜市立横浜商業高等学校（Y校）と横浜市立大学（市大）の同窓会です。
「人と進んで交わり、共に資質を高めよ。」は、Y校初代校長の美澤進先生（福沢諭吉の高弟）の言葉です。

〒 231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 6-111 電話 045-681-6575 FAX 045-681-6585

Mail : shinkokai@nifty.com (進交会) HP: https://shinkokai-web.jp

コロナ収束で

進交会館落成の真の喜びを！

一般社団法人進交会 理事長 古屋 文雄



進交会会員の皆様、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により、当たり前前の日常生活が大きく制限されてしまいました。皆様も緊張感の中での生活が続ぎ、本当に大変な毎日をお過ごしのことと存じます。会員の皆様には進交会館の感染拡大防止にご協力を頂き心より感謝を申し上げます。

緊急事態宣言の発出等に伴い、会員の皆様が気軽に利用できるラウンジの「みなと倶楽部」や貸会議室の事業を一定期間休業せざるを得ず、進交会館落成の真の喜びを会員の皆様に享受していただけず、誠に残念な思いをしております。

今般、初の試みとして、従来のY校、市大を合同掲載し発行していた進交会報を、今回試験的にY校版、市大版に分冊発行することとしました。分冊により、一人でも多くの会員に読んでいただき、それぞれの母校への思いを深め、母校愛を高め、同窓会（進交会）への意識の高揚を図ることができたらと願って試験的に実施しました。そして、会員の皆様にお願ひした貴重なご意見、ご要望は「持続可能な進交会」に向けて有効に活用させていただきたいと考えております。

コロナ禍で人と人のつながり、ふれあい、仲間との交流、会話の機会も減ってきています。会員の皆様がワクチン接種を終え、一日でも早く新型コロナウイルス感染症の収束を迎え、安心安全な生活ができますことを願うと共に、皆様が進交会館落成の真の喜びをご享受いただけましたら幸甚に存じます

Y校のさらなる発展を目指して

横浜市立横浜商業高等学校

校長 小間物 晃弘



今年4月に着任して以来、Y校生の明るい元気なあいさつ、日頃の授業や学校行事、部活動を通して、Y校生の限らない爽やかなパワーを感じております。その一方で昨年度からの新型コロナウイルス感染防止対策に追われる毎日です。今のところ、臨時休業はないものあたり前に思っていた学校生活には生徒の安心・安全のために、依然として様々な制限が続いております。しかしながらこの状況であることから学校におけるICTの活用が飛躍的に進みました。1年生全員にノートパソコンを所持させ、H Rや授業で積極的な活用

Y校会会長挨拶 ……我慢にも限界が……

Y校会 会長 田宮 国興（Y昭39年）



Y校卒業生の皆様におかれましてはコロナ災禍にあつて大変なご苦労も多いかと拝察いたしております。日頃はY校会の活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。また、コロナ禍により生活に影響を受けている方々には、心よりお見舞い申し上げます。

この夏にはコロナ禍において賛否両論のあつた東京オリンピックが開催され、ステイホームの中、日本のアスリート達の活躍により、史上最多のメダル数を獲得して我々にスリルと感動を与えてくれました。

Y校会においては昨年に続くコロナ禍の中、毎年2月開催予定のY校会総会を2年連続で「書面による表決」に変更し、社会見学会、暑気払い等

がなされており、そのために教職員もその研修に励んでおります。令和四年度入学生から学年進行で全面实施される学習指導要領に向けて準備を進めております。産業構造の変化や技術が進展し、経済社会が常に変化し、そこで求められる人材も変化することから学校は進化の歩みを止めることはできません。横浜市立大学による特別講義や研究発表等の講評等のご指導はグローバルニングをすすめる上で、大変ありがたいものとなっております。

おかげさまで来年、開校百四十年を迎えることができます。Y校は、歴代卒業生が横浜をはじめとする日本全国、さらには世界各地で活躍されており、進交会、Y校会からの温かいご支援に支えられ、生徒一人ひとりが元氣よくY校生活を送っております。あらためて進交会及びY校会の皆様にも、深く感謝申し上げます。

の行事も中止としました。そしてY校生のニューヨーク、台湾への海外研修も生徒にとつては誠に気の毒ですが中止となりました。しかし、母校への新たな支援策としてY校生のSDGs活動への支援及び歌舞伎鑑賞教室は実施することができました。そして今年、試験的に進交会報をY校版・市大版に分冊して発行しております。これによりY校卒業生が母校への愛着と思ひ出を高め、若年層や女性層からもY校会活動に賛同をいただき、正会員の増員、会費の増収等に役立つものと確信しております。

もう我慢の限界でしょう。皆さんと共にフェイストロフェイスで楽しい日々を笑顔で過ごすことが健康を維持するうえで最大の効果が期待できると信じています。会員の皆様、早い機会にみなと倶楽部でお会いしましょう。

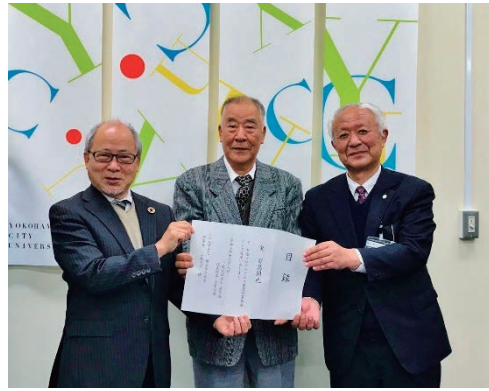
来秋はY校140周年、美澤進校長の100回忌法要を迎えます。会員の皆様にはくれぐれもご自愛いただき、さらに一層Y校会活動へ積極的に参加、ご協力賜りますことを祈念致します。

進交会だより

◆事務局だより

◎横浜市大「新型コロナウイルス対策基金」に寄付。

コロナ禍の緊急事態の市大病院と困窮する学生の支援のため、令和2年12月に古屋理事長から市大理事長に、100万円（進交会50万円、Y校会25万円、市大同窓会25万円、計100万円）の寄附目録を手渡しました。市大理事長から、「いただいた寄附金は学生支援のために活用させていただきます。」と感謝の言葉を頂きました。



◎Y校生への奨学金、美澤皆勤賞の授与。

★令和3年3月2日のY校卒業式で、成績優秀な生徒7名に奨学金を授与しました。

進交会奨学金受賞者（敬称略）

- 五十嵐ひなた、土田龍治、梶谷龍二、梶谷真千、黒澤真姫、君島承為、石井芳奈

★3年間無遅刻無欠勤の生徒40名に美澤皆勤賞を授与しました。

※令和4年から「奨学金」の名称を「進交会賞」に変更します。

◎市大生への進交会賞の授与

令和3年3月18日、シーガルホールにて古屋理事長から14名の成績優秀な学生に進交会賞を授与しました。

◎令和2年度一般社団法人進交会社員総会 コロナ禍の為、「書面による表決」に変更し実施しました。

その結果、第一号議案 令和2年度事業報告（案）、第二号議案 令和2年度貸借対照表（案）及び正味財産増減計算書（案）承認の件のすべてが承認されました。

◎進交会HPをリニューアル

進交会活動を会員の皆様によりよくご理解いただき、同窓会、ゼミ、部活OB会等の開催、支部活動等の周知、交流・連携等で更にお役に立てる様、進交会HPをリニューアルしました。

◎みなと倶楽部・貸会議室

みなと倶楽部では会員の皆様が安心してご利用いただくために以下のコロナ感染防止策を行っております。

- ・検温、手指消毒の実施
・三密の防止（人数制限及びソーシャルディスタンスの確保・換気）
・アクリル板の設置
・従業員のマスク着用励行
★ご利用の際は必ず事前にご連絡をお願いします。

正味財産増減計算書総括表

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月 31日
(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 一般会計, 特別会計, 美澤基金, 総合計. Rows include 経常収益, 経常費用, 当期経常増減額, etc.

貸借対照表総括表

令和3年3月31日現在
(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 一般会計, 特別会計, 美澤基金, 総合計. Rows include 資産の部, 負債の部, 正味財産の部, etc.

原点はY校で培った「商業実践」
(株)アイスコ入社55年で商業資本のアイ
スクリーム問屋として令和3年4月初の
IPO(新規株式公開)を実現。

(株)アイスコ 代表取締役会長
相原 敏貴 (Y昭41卒)

「Y校時代の思い出」
「やんちゃな学校生活だった」と振り返る。
「強くなりた」と思い柔道部に入部。
父から「Y校行って商人になれ」と言われ、後継
ぎに。



私が家業で
ある相原冷菓
に入社したの
は1966年、
今年で入社55
年になる。

これまでいくつかのターニングポイント
をいろいろな人に助けられながら乗り越
えてきた。入社当時は年商1,800万
円で従業員が私他に3人いた。得意先
は少なく、午前中で仕事が終わってしま
い「これではいかん」とセールの手引
きの本を片手に営業活動を始めた。初め
て営業に行った企業の契約が取れて楽し
くなり、そこから夢中で働いた。

売上は順調に増加し、入社7年後に従
業員が7名になっていたが、人の入れ替
わりが激しく悩んでいた。私と同じレベ
ルの仕事を従業員にも求めていて、常に
自分と従業員を比較しながら働いていた。
あるスーパーへ営業に行った際、そのの
従業員が活き活きと働いているのを見て、
その理由をスーパーの社長に尋ねると、
「あんた仕事していつまらないうらや
顔に出てるよ」と言われ唖然とした。そ
してIPRという研修の存在を知り、菓

をも掴む思いで参加し、人の入れ替わり
が激しい理由は全て自分にあると気付か
された。その時に「寛大とは、その人の
全てを許すことではあるけれども、それ
は見逃すことではなく、その人の欠点を
正しく説いてあげることだ」という言葉
を学び、私に意見してくれる人は素晴ら
しい人だと思えるようになった。「人を
使おう」という考え方が間違いだと思
かされ、経営者の仲間と勉強会を作り、
とにかく勉強した。そうすると人が愛お
しくなって営業するのがさらに楽しくな
っていった。

ある時、小売業最大のダイエーに飛
び込みで営業に行き、アポイントなしで
何とかバイヤーに会うことができたが、
「会社が小さいから取引できない」と言
われ追い返された。以来、その時のバイ
ヤーに「ダイエーも初めは小さかったで
しょ?うちを大きくしてください!」と
言い続け、その後5年半通い詰め30歳の
時にダイエーとの取引を行うことができ
た。小売最大のダイエーと取引すること
で自信にもつながり、相原冷菓の社名が
業界に知れわたるようになった。

その後、44歳の時商号を株式会社アイ
スコに改め、順調な滑り出しとなったが、
1995年の阪神淡路大震災で事態は一
変した。震災の影響を深く受けたダイエ
ーとの取引を失い初めての赤字となった。
大変な状況だったが、「愚痴は捨てた人
も拾った人も不幸になる」と思い、不満
を活かすため、愚痴ではなく意見に変え
るように心掛けた。こうした経験から、
新規開拓に注力し、一転売上が増大させ

ることができた。
2000年、いきなり300坪のスー
パーを計画したが貸し渋り等の金融状況
より、資金不足が生じたが、友人、知人
の支援により開店にこぎつけることがで
きた。「受けた恩は石に刻め、掛けた情
は水に流せ」と自分に言い聞かせ、この
友人、知人との縁は一生大事にしようと
思った。この後、さらに2店を開店させ
順調に事業が拡大していった。

今から、25年前に八社会という経営者
が集まる会に入会し、その会の仲間の影
響もあり、上場を目指す意欲が芽生え、
2016年の上場を宣言した。5年間の
遅れがあるも、今回上場を成し遂げるこ
とができた。そして「我が行動は、我が
思考の限界を超えない」というこの言葉
が大好きで、思うことが一番大切だと思
っている。また、Y校での「商業実践」
の授業でいち早くビジネスの世界を模擬
体験できたことが一番の財産と考える。
「上場はゴールではなくスタート」、
アイスコの社名は「I Care Every
body Company」(あ
らゆる人々に慈しみの心をもって接する
企業でありたい)という願いを由来とし、
「食を通じて社会貢献すること」を目標
に、失敗を恐れず常に新しいことに挑戦
し、アイスコはさらに発展していくと確
信している。

株式会社 アイスコ
創業 昭和23年5月
本社 横浜市泉区
従業員数 1197名
売上高 4005億(2020年度)
事業内容 アイスクリーム類及び冷凍食品等の
卸売、スーパーマーケット

iceco スーパー生鮮館 TAIGA JPX
「I Care Everybody Company」
あらゆる人々に慈しみの心をもって
接する企業でありたい

フロース事業部
アイスクリーム・冷凍食品の卸売
スーパーマーケット事業部
スーパー生鮮館TAIGAの運営

日本史のアプリオリ、 老人の独り言

第21代Y校校長 山田 瑛（Y専昭25卒）

明治の日本人は、和服から洋服に着替えることがハイカラで、ハイカラこそが文明開化だと感じて居ました。しかし維新後の職業の転換には苦労しました。足袋の刺し子の職人は地下足袋の底の部分が布合わせの刺物でしたから、刺し子の技術を洋服の襟に転用して洋服の仕立て屋に転換しました。しかし背広の大衆化どころか学生さえ着物で通学してました。また、廃藩置県の各藩の脱出者の先達は医者でした。藩医はお抱えの医者でしたから藩主を失って医者は、漢方の薬草の支払を放置して夜逃げ同然で江戸に出ました。森鷗外の生家は、藩の典医の家柄でしたが林太郎の母は亡父の弟子を婿としましたから、彼女が漢方の借金、家屋・家財の始末を済ませてから、幼児の林太郎の手を引いて上京、親戚の西周の手ほどきで江戸に転居しました。幼い林太郎には酷い旅でした。林太郎は西の甥で、西は甥の非凡な才能に気付いていて、林太郎の人生行路を援けました。なお、江戸の各地域の医療担当医師の手当は月20円でした。

豪商の雨宿り

現在の関内の地域は長崎の出島を感じて、大岡川が堀割の役割を担当、横浜は外国商会と邦人の商人の町でした。本土は野毛の大岡川に橋をかけて通行、そこで町では公益事業として橋の袂に四斗樽

を埋めて席で囲い公衆トイレを作りました。臭い仕事と云うよりは、汚い不浄な仕事で希望者が無く、それでも落札して数千円の代金をセシメテ、それを元手にビジネスを拡張してトドノツマリは、学校を作り、ドックを作りして地域の生活圏と造船業という職場を提供したものです。こうして地域密着型の開発に精進して財をなした人物のいたことを、市民は、そろそろ忘れかけているように思います

が、それから百年、横浜は先進国の都市化をビジネスとして五里霧中で戦災の復旧を成し遂げ、さらに新しい近代都市の装いを固めつつありますが、話は明治期、下駄履きのステコ姿のノンキ節の時代では、横浜は暗闇の頬かむりというような恰好で、新しい文化・文明と真摯に向かい合ってきたものです。海辺の活林は松の木が水に強いもので未来の護岸工事に役に立てようと、家康の時代に埋め立て請負人の内川新左衛門の配下の人たちが植林したもので、豪傑の青春時代では、雨ざらしを野毛山の松の木陰で凌いだという事です。後年の豪商にもストリートボーイの時代がありました。昼はオキナカシで汗をかき、夜は野毛の仮寝かな、という生活に耐えて、とどのつまりは横浜豪商の大舞台に這い上がったと、これも実話です。近年の横浜は都市化現象に呑み込まれて往年を偲ばせる面影を失いつつありますが、野毛の松の木の昔話を語る人も居なくなりました。

泥棒に成れなかつたコメ泥棒

敗戦は身近な文明開化でした。マーガ

レット・ミツチェル女史は風と共に去りぬで、戦争は負ける方が儲かるとレットパトラーに語らせていますが、終戦の日の午前中に軍に物資を納品、集金も終わっていました。正午の天皇の放送を聞いて急いで納品物資を取り返しに行ったという公然たる泥棒が居ました。敗戦国の立場では義賊ですが、落とし物の先取特権のツモリかもしれません。代金の二重とりというべきか、とにかく異常事態でのごとく警察権は発動無し。物資は米軍に押収されるよりはマシだというわけです。読者はそれが米だと聞いたら驚くでしょう。この泥棒にならなかつた泥棒は戦後に大活躍、鶴見のドックマンのように教育にも手を出しました。ミツチェル女史の奇妙な文明開化でした。

敗戦後の日本国憲法は個人の尊厳を守れるか

明治憲法の日本は天皇大権の憲法で内閣制度を発足させましたが、専門的役割は各省大臣に委ねられて居ましたから、天皇は君臨すれども統治せずという建前の天皇でした。政府機関の長が天皇の統治の大権の責任を負うことを輔弼（ホヒツ）と云いましたが、明治憲法は、議会閉会の際の公共の安全の保持と、災厄を避けるための緊急の必要に際しては勅令という天皇親政の余地を残していました。この勅令の歴史は古代に遡ります。飛鳥奈良の王権は続日本紀（697〜797年）では、天皇の言葉は全て勅令でした。戦後の現行憲法は国民主権となりましたが、国民の権利が突然、劇的に変化した

のは婦人参政権の登場と徴兵制度の廃止程度のこと、戦後は軍国主義の排除で民主化が始まり教科書の墨塗りと並行して教師の適格審査が行われました。学徒動員で大学卒業生に尉官が続出、しかし発令者はマックマナスなのかGHQ指令なのか、とにかく大尉は軍国主義の排除指令で教壇に立たせないとされました。早速日本読みで中尉ならばヨシとされた。ポツダム大尉が中尉として申請し教壇に立ちましたが、教室では生徒が大尉で教官が中尉という奇妙さに笑いました。闇物資が大量に登場してそこから自由経済に突入したのが真相で、職場の確保も朝鮮動乱で大量の破損トラックが出現、その修理から雇用の機会に有りついたという次第でした。具体的に見れば、修理にハンダゴテを要した日本がカートリッジで部品ごと取り替える流れ作業に驚いて、生産方式の非科学性に気付いたということでした。戦後の日本の復活のために自動車産業のフォードシステムが動き出す必要がありました。

過去プラス舶来の生活革命

日本では舶来文化は天孫降臨に始まりましたが、日本史はここではノーコメントです。大化の改新は朝鮮半島の影響を排除しようとした事件という感じもありますが国内的には国内の権力闘争に過ぎません。素直にみれば教室の日本古代史は、飛鳥大和から始まりますが、魏志倭人伝では卑弥呼の後継の時代に倭は大いに乱れたとされて居ます。その争乱の犯人は実は「チヌ」族でした。チヌは昨今

ではクロダイのこと。しかし、そこは大阪の和泉の古名もチヌということで、奈良の港湾地域の反乱であるとすれば大変な事態ということになります。七世紀前半の時代では吉備の存在も米どころの経済圏でしたから、もう少し丁寧にといいます。また奈良の都の時代の奈良は花の都ではなくて、道端の汚物の都でした。

横浜商人の崩壊は

第一次世界大戦後の恐慌は横浜商人を壊滅させています。横浜商人は人の信用で成立する合名会社でした。経営の言う人的企業です。合名会社でしたから企業の破産債務をオーナーが個人の財産で弁済しました。東京の商人は株式会社でしたから企業の破産債務を保有株式で負担しました。だから東京の株式会社方式の方がオーナーが再建しやすかったということが有りますが、これは会社の制度論でY校の教育課程で言えば商業法規の課題になり、担当教師は民法の先生でしたから、法人制度の効能を観察・助言がでさなかったという専門のエアポケットがあったということを残念に思います。なお天皇機関説が軍国主義者の皇国意識に支配されて居て、機関・機能という概念が嫌われたために論考の知能回路に言語障害が蔓延していたのではという心配があります。戦争末期、玉砕が公然化して国民の生存が脅かされていながら、東条が戦局は五分五分と陛下に言上しました。終戦の年の2月だそうですが、中枢の知性がすでに正常を欠くという事かと思われませんが、中枢が機能的観察を欠く

と配下の国民の生命の尊厳が無視されます。東条の進言は東京大空襲の直前と記憶して居ます。日本の知性のア・プリオリと申し上げますが過剰反応ではありません。

過去の残影は「ア・プリオリ」

旧来の先天的・生得的な伝統的・文化的な習性を伝えるのが伝統です。そこへ開明派の人たちが舶来を付加して生活文化を変化させます。このプラスチックの摺合せが、当該社会の生活環境や生活様式を変化させますと文明開化となりますが、天正キリシタンの時代では、国是が妨害して弾圧に走りました。隠れキリシタンは、その名残です。古代宗教では寺田・神田の班田を併いながら普及しましたが、仏教は派脈が頑なで結果オーライです。これが「先天的・生得的な生活の過去の部分」を形成して、これを「ア・プリオリ」と云うのだそうですが、日本民族は、稲作民族で、かつ、海洋民族でもありましたから、自然順応型の民族という意味での生活のア・プリオリが根強く、劇的な文明開化が難しい民族であったかと思えますが、なぜか社会的な統治、いわゆる政治の支配と云うことになりなると、「規律を護り集団行動に従順」な民族で、エジプトに招かれて、そのエジプトから追放されたヘブライ民族のモーゼの掟社会の生活の従順さと同類で、規律に素直な民族を自負して居ます。身近な話で言えば日本人は、横断歩道に渡る人が居なくても、赤信号で静かに信号の変わるのを待つことが出来る国民で

あるということが、日本人の天然の特性とされてきました。これを不思議がらない平然たる従順さが、実はコロナ蔓延の地球での人類的規模で求められていると思うのですが、とにかく日本人は、徳性の根深い民族のゆえに、維新では多くの逸材を失いました。ここでは維新の刃に倒された逸材を惜しむという意味で武士道の無残さを指摘しておきます。小栗は横須賀の造船所の開拓者、左遷されて郷里に隠遁して居て引き出されて斬殺されました。フランス通でしたから渋沢とパリに飛んでいたらと思います。彼の存在は勝の維新をどう調整したでしょうか。維新が知識を世界に求めたのは維新の後付けで、だとすれば五箇条の誓文は維新では討幕革命の後付けの作文の感があります。維新は岩倉の文明開化は権力闘争に過ぎません。小栗の可能性は東郷を越えて居たのでは、と思われませんが、征東軍の無頼漢プリは新皇の官軍の自虐的な名誉棄損でした。

補記

▼商業科は商業法規を専門家に委ねる必要があります。簿記だけではビジネスになりません。店と奥の関係を語らないと法人の経営権がオーナーの主権から委託された委任の関係であることを見越えて、企業権と経営権の関係が混乱します。株式のファン্ড化を推進して参加権だけの株主が増えたと、ファンドの投票権が増大して企業防衛が困難となり、ゴーンが乱入しかねません。日本の村社会の感覚には、参加意識が先導し勝ちで、委託委任の感覚が不明確化されがちです。



コンビニエンスストア、スーパーストア、百貨店、専門店、銀行など、多彩な事業を展開し、時代とお客様のニーズに応え続けるセブン&アイグループ。

私たちは、毎日の暮らしに寄り添い社会とともに進化するグループを目指します。



<https://www.7andi.com>

Y校だより

◆「着任のご挨拶」

横浜市立横浜商業高等学校

副校長 相原 慶

桜舞い散る



四月、大岡川の水面に浮かぶ花筏が私の心を和ませて

くれたことを思い出します。この度、横浜商業高等学校に着任いたしました相原慶と申します。

着任後まもなく、進交会について拝聴する機会があり、会員の皆様の多大なるご支援とご理解のもとに本校の教育活動が支えられていることを知りました。長年にわたる皆様のご誠意に心より感謝を申し上げる次第です。

先頃、中学校にて保護者と生徒の方々を対象に本校についてご説明をさせて頂く機会がありました。参加者の中には、本校の多様な学科のラインナップとその教育課程に目を見開かれる方がいらつしやいました。その様子を見、社会に大きく貢献できる可能性を持つ本校の教育活動にあらためて敬愛の念を深めた次第です。

本号が皆様のお手元に届く秋深し頃には、希望される多くの方々ワクワクン接種を終えて、将来への明るい展望を携えておられることを願っております。最後になりましたが、会員の皆様方へは今後益々のご発展を祈念させて頂きましてご挨拶の結びと代えさせて頂きます。

◆商業科の近況

商業科主任 宝珠山 悟

6月19日(土)に神奈川県簿記競技大会がY校にて行われました。Y校からは6名の3年生が出場し、団体戦では平塚農商高校に次ぎ第2位となり、個人では見事に3年4組の中野瑠音さんが個人総合優勝を果たしました。中野さんは7月18日に兵庫県の関西学院大学で開催された第37回全国高等学校簿記競技大会に個人出場しました。この会報が発行される際には結果が出ていますが、商業科の教員もバックアップを行い、Y校の商業教育の一つの成果として大いに活躍することを期待しています。

簿記教育に関してはY校在学中に日商簿記検定1級合格を果たすことができなかつた生徒も大学に進学し、大学2年生で公認会計士試験に合格するなど多数の成果が出ています。つまり高校生の時は簿記に関しては日商簿記2級を目指していけば十分社会人として必要とされる会計力を身につけられるのではないでしょう。今後もY校商業科では基礎・基本を大切に、継続して取り組める力を今後も養っていきます。



中野瑠音さん

◆YBCクラスの状況

YBC経営会議主任 佐藤 邦宏

6月19日(土)に行われた中学生向け本校学校説明会において、このような質問をしてみました。商業高校「？」ですか。その問いに対して、世間一般で考えられているのは「就職」というお話をさせてもらいました。Y校卒業生でしたら「就職」とはならないのではないかと存じます。Y校では商業高校でも大学進学を目指せるということをお伝えしました。



YBCクラスが2010年にスタートし、12年目を迎えました。私自身Y校の卒業生で当時の進学商業クラス「進商」で2年間学びました。「進商」は2年生からスタートし、他のクラスよりも多く普通科目を学ぶのが特徴でした。2018年に異動で戻り、YBCクラスの担任を3年間するなかで、その違いを多く感じるとともに、「進商」の流れを汲んでいるクラスなのではと感じました。

その違いは、YBCクラスでは、1年生からスタートできる点、また横浜市立大学での講義受講や関東学院大学との高連携。大学で何を学びたいのか、各プログラムを行うことで下級生のうちから行きたい大学への意識を高めることができるのが強みだと考えます。

変わらぬものは、諸先輩方が築かれた指定校の充実。「進商」と同様に大学に行こう、勉強しようという気持ちを持つた生徒が多く集まり切磋琢磨しているところは、YBCにも引き継がれているなと強く感じています。

Y校の歴史と伝統が受け継がれていることを実感しながら、積み上げてきた良いものに新しい取組みを加え、より発展したYBCクラスを作っていきたいと考えています。ぜひ、進交会会員の皆様にもアドバイス頂ければ幸いです。

最後に、令和3年3月に卒業した生徒の進路状況をお知らせ致します。39名中30名が4年生大学に進学、「一般受験合格者」が9名(明治、日本、北里等)「学校推薦型・総合型選抜」21名(横浜市立、法政、中央、同志社、東洋等)、「専門学校4名、公務員3名、進学準備者が2名」となっております。

◆国際学科の近況報告

国際学科主任 小島 寛子

国際学科では国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を自分ごととして考え、未解決の社会課題に主体的に取り組む姿勢を育んでいます。特に今年度は、他者との対話を通して深めた考えを「行動」に起こすことを目標に、様々な活動を行っています。GIGAスクール構想によりオンライン上での対話も可能になったので、授業でも積極的に活用し対話を大切に「主体性」「協働性」「課題解決能力」を重点的に国際学科の教育を展開していきたいです。

7月には国際学科の最大行事Y S F JをY校で実施しました。コロナ禍で活動に制限がある中ではありましたが、8校の招待校の生徒を含め約100名が集いました。今年のテーマは「自然共生」で、分科会トピックは「気候変動」

「食」「産業」「発電」「国際協力」という5つの視点から自然共生について話し合いを持ちました。いかにして自然を保護し、未来の地球を守ることができのか、調べ学習で終わらないように、高校生の立場で考えるアクションプランを最後に発表しました。12月のY S Fでは使用言語が英語になるので、会議資料を英語でまとめたり、英語で発表や議論したりしていきます。海外の方と交流が難しい今だからこそ、英語を使える環境を最大限に活かせるよう準備をしていきます。



◆スポーツマネジメント科の様子

スポーツマネジメント科主任
坂本 静香

令和3年4月、密を避け2分割で行われた入学式でしたが、無事に8期生を迎えることができました。年度当初からフ



レッシュユマッセ ミナーや講演会、横浜市医学センターで行われるスポーツプログラムサービス(SPS)など、例年通り開催することができ

ことを有難く感じています。海外研修旅行は今年度も難しく、国内の研修旅行に切り替える予定です。海外研修と同様にスポーツビジネスや普段体験できないスポーツの体験、スポーツを通じた交流など準備をしています。

スポーツマネジメント科の生徒が多く所属している運動部の大会は、観客や応援の制限はあるものの、例年に近い形で開催されています。卓球部は、関東大会出場を果たし、ボート部は全国大会、インターハイへの出場を決定しました。今後は、明石や甲子園をかけた軟式野球・硬式野球の選手権大会が始まるうとしています。

最後に、スポーツマネジメント科に新しく3名の職員が加わり、また元オリ



ピアンの斎藤里香氏をトレーナーに迎え、さらに充実した授業を展開することができるようになりました。今後スポーツマネジメント科で学びたい、という生徒が増え、入学してきた生徒、すでに在学している生徒の活動が実り多きものになるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。

◆就任のご挨拶

Y校PTA会長 松下 更

今年度、横浜商業高等学校PTA会長に就任いたしました。初めてお受けする大役に不安を感じてはおりますが、理事そして教職員の皆様のご協力のもと務めてまいります。感染拡大による行動制限は昨年より続いておりますが、この状況下においてもPTAとしてできる範囲で生徒たちや見守っておられる保護者の皆様のため様々な行事や学校運営への協力をさせていただきますと考えております。

今年も総会は書面となり、先日行われました定例委員会では今後参加人数を制限してはどうかと本部から提案いたしました。ですが当日いらした理事の皆様より、これまで通り参加したいとのご意見を頂きました。決して義務や使命感により仕方なく参加しているのではなく会議参加への積極性と情熱を感じ、このような方々とPTA活動をともにすることに喜びと頼もしさを感じております。

前述の通りまだまだ難しい運営とはなりますが、生徒たちには可能な限り青春を楽しみ将来への希望を胸に学校生活を送ってもらいたいと願うばかりです。私

自身もPTA活動により学校内にて生徒達と挨拶をする機会が増えました。マスク越しでも伝わる笑顔を今後も見続けていられるよう尽力してまいります。今後一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆Y校おやじの会

会長 平井 稔人

おやじの会はY校を管理されている職員の方々をサポートする為、保護者が中心となり2005年に発足いたしました。現役の保護者とアドバイザーとしてOBが参加し、Y校を陰で支えるべく精を出して活動しております。

主な活動はY校内の庭園や施設の清掃整備・維持管理活動となります。その他にも様々な活動を行っており、大きなイベントとしてはY校祭で毎年模擬店を出店しております。

昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛しておりましたが、7月より活動を再開することができました。

本来でしたら、月1回2時間程度の清掃活動を行い、その後汗を流しに銭湯へ、そして地域のおいしいお店での懇親会にておやじの会の活動について積極的な意見が交わされるのですが、現在活動後の



お楽しみはコロナウイルスが終息するまで会員たちも我慢させていただきます。

生徒の皆さんもこのコロナ禍という新しい生活スタイルの中、いろいろと模索しながら学校生活を送られております。おやじの会としても、会員の皆様方の英知を結集させ、生徒たちがより良い学校生活を送れるよう全力でサポートしていきたいと考えております。

おやじの会は今後もY校の発展や地域の為に陰ながらサポートをできるような精いっぱい頑張りますので、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

Y校部活動だより

**◆Y校軟式野球部
第66回全国高等学校
軟式野球選手権大会に出場に
際して**

軟式野球部顧問 佐藤 邦宏
「明日の練習も県大会優勝を目指して頑張っていきたいと思います。」3年チームマネージャー加瀬が必ず練習後のミーティングでチームに投げかける言葉です。軟式野球部は今夏、11年振りに県大会で優勝し、神奈川県代表として出場した南関東大会も制し、平成22年以来7回目の全国選手権に出場することができました。

県、南関東大会では、エース阪本の調子が試合を重ねるごとに良くなり、守備もノーエラー、攻撃では小技を活かした機動力野球で勝ち上がっていました。夏の大会が始まる前、もつと言えば3年前に再度赴任して監督となった時、全国大会にこんなに早く出場できるとは、思ってもいませんでした。コロナ禍という

状況のなかで、練習時間が減り、練習試合の相手も県内のみという苦しい状況でしたが、最後まで諦めずに力を発揮するY校生の底力と可能性を感じました。勝ち進むにつれ、マネージャーの言葉は「県大会」が「南関東」に変わり、最後は「全国大会」に変わっていききました。

今回、全国大会では東中国代表・鳥根県の浜田高校に1対5で敗れてしまいました。私たちは目標を設定し、達成してくれると信じています。

私自身、軟式野球部OBで、監督として11年前に出場した際にも進交会会員の皆様には多大なご厚志と温かいご声援を頂きました。今回はコロナ禍ということ。現地でのご声援を頂くことはできませんでしたが、理事長の古屋文雄元Y校校長をはじめ多くの会員の皆様からのご厚志を頂戴致しましたこと、心より感謝申し上げます。



◆Y校卓球部の活動報告

卓球部顧問 内田 涼介

- ・関東高校卓球大会神奈川県予選会
男子団体4位、女子団体2位
(男女関東大会出場)
- 男子個人、杉本央9位
(関東大会出場)

・神奈川県高校総体兼全国高校総体県予選会
男子団体4位、女子団体2位

昨年度、新型コロナウイルスの影響で中止となった関東大会予選及びインターハイ予選が今年度は無事に開催されました。関東大会予選とインターハイ予選では男子団体4位、女子団体2位という功績を収めることができました。関東大会予選につきましては男女ともに関東大会に出場し、男子は7大会ぶりに代表権を勝ち取りました。コロナ禍ということもあり、部活動に制限がりましたが、日々創意工夫しながら練習時間を有効的に活用できていたことが、代表につながったのだと思います。

3年生はこのインターハイ予選で引退になり、現在は1、2年生が中心の新体制が始まりました。3年生がつなげてくれた大きな実



績を新体制でも受け継ぎ、さらに上を目指していける部活動として日々活動していきます。今後とも卓球部の活動にご支援とご協力のほどよろしく願っています。

◆硬式野球部の近況報告

硬式野球部顧問 廣濱 優

日頃より多大なる御支援御声援をいただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により、観客動員に制限はあるものの例年通りに春季大会、選手権大会が開催されることをありがたく存じます。

この125期は、「転生」意志を継ぐ」をスローガンに、選手、スタッフで思いを一つにして日々取り組んでおります。試合では、秋季県大会、春季県大会ともにベスト8の成績を残しました。秋春ともに準々決勝の相手は、東海大相模高校。秋季県大会は0-6の完封負けしました。その後、東海大相模高校は甲子園選抜大会で全国優勝を果たしています。春季県大会は、7回まで1-2と緊迫した状況が続きますが、8回にホームランを打たれ2点差に。9回表をエース山口





が抑えると、ヒットが続き1アウト満塁。9番打者が意地の犠牲フライを放ち1点差に迫り、なおも2アウト1・2塁。打順は1番に戻り、一打同点の場面。しかし、そこは相手が2枚も3枚も上で三振に打ち取られゲームセット。点差以上に実力差を感じた試合となりました。けれど選手たちは、この試合からたくさんのことを学び、ようやく神奈川の頂点がどの高さにあるかを知ることができました。まだまだ、厳しい状況が続いています。が、野球部の活動ができる喜びに感謝し、選手たちと日々精進したいと思えます。今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願いたします。

◆吹奏楽部活動報告

吹奏楽部顧問 田澤 真一

私たちY吹こと横浜商業高等学校吹奏楽部は、41名で本番に向けて練習を重ね、最高のパフォーマンスを披露して観客に楽しんでもらうことをモットーに活動しています。

私たちは、吹奏楽コンクールやアンサ

ンブルコンテストだけでなく、学校行事での演奏、野球部の応援、地域で行われる音楽祭など様々な音楽会やコンサートなどに参加しています。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの演奏会が中止になってしまいました。3月に在校生と保護者のみの入場と規模を縮小して定期演奏会を開催する事が出来ました。久しぶりの観客を前にしての演奏は、部員と観客の一体感と喜びを味わうことができました。

今年度は、保護者の皆さんを前にミニコンサートや、まだ球場での野球応援はできないものの、野球部の健闘を祈りバトン部と合同で激励会を行う事が出来ました。

今年度は、吹奏楽コンクールが開催されません。大ホールでの演奏は、他では味わえない緊張感があります。活動制限のため思うように練習することが出来ませんが、緊張感に負けずによりよい演奏をすることができるよう、日々練習しています。

新型コロナウイルスが収束して沢山の観客を前に演奏できることを願い、今できることを精一杯、部員一丸となり毎日一生懸命練習に取り組んでいます。



◆ボート部活動報告

ボート部顧問 會田 尚貴

ボート競技界隈では、「一艇ありて一人なし」という言葉があります。ボート競技は一人では取り組むことができない、成し遂げることができないという意味を端的に表した言葉です。

新型コロナウイルス感染症の影響が収まらない中、全国大会、関東大会等に追加させていただくなかで改めてこの言葉の重み、偉大さを実感しています。

私たちは何のために艇を漕ぎ、陸上でトレーニングをするのか、意味を見出るのが難しい日々が続いていました。大会等に参加させていただき、戦う相手がいること、支えてくれる人がいること、そして応援してくれる人がいること、これらの大切さを改めて認識し、考えさせられる機会となりました。

《ボート部 59年ぶりインターハイ 優勝》
令和3年8月16日より、福井県立久々子湖漕艇場において全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が行われ、Y校ボート部から3種目出場しました。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続くなかでの競技ではありましたが、女子ダブルスカルが優勝、女子舵手つきクオドルブルが4位入賞を果たしました。インターハイでの優勝は、1962年以来59年ぶりのことです。

Y校ボート部はこのインターハイでの優勝を目標に練習を行ってきました。今は合宿や遠征等が満足にできない状況ながらも、平日はY校のスポーツセンターや大岡川でトレーニングを行い、休日は

相模湖漕艇場へバス等で出向き、感染症対策を施しながら、工夫して練習に取り組んでいます。

このように継続して活動ができたことは、保護者等の関係者の皆様やY校ボート部後援会（OB・OG会）、進交会を始めとした卒業生の皆様の御理解と御声援があつてのことだと考えております。

秋からは新チームが発足しますが、新チームでも日本一を目指して、日々精進していきたいと考えておりますので、今後とも、御声援のほど、よろしくお願いたします。



◆Y校生の進路について

進路キャリアガイダンス部主任 飯森 収

現在、わが国は少子高齢化による生産年齢人口の減少、AIの進化と普及による職業構造の変化などによって大きな転換期を迎えています。それに伴い、生徒の進路に関わる部分でも変化がみられています。

大学入試に関しましては、昨年から新しい入試制度及び名称が始まりました。これまでの大学入試は、一般入試、AO入試、推薦入試の大きく3つの入試区分が設定されていましたが、一般入試は一般選抜に、AO入試は総合型選抜に、推薦入試は学校推薦型選抜へと、それぞれ名称が変更されました。さまざまな側面から社会構造が変化しているなか、社会に人材を供給する立場にある大学も、大きな変革を迫られているためです。これまでの「知識・技能」だけでなく、社会を生きる力として課題解決能力などが求められるようになったことから「思考力・判断力・表現力」を一層重視するという考えが新入試制度のベースにはあります。高校においても、「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を育成することが求められていきます。これからは、高校での学びをいかに大学での深い学びに結びつけるかが問われ、高校・大学の7年間のスパンで自分の夢の実現を考えていく時代になったと考えています。

また、昨年度、民間就職に関しまして

は、コロナ禍という先の読めない中での就職活動を余儀なくされました。就職活動の開始が6月からと例年と比べ2ヶ月遅れてのスタートとなり、生徒たちは会社見学等を駆け足で進めました。求人数の減少も危惧されましたが、予想していたほどの減少はなく、最終的には、男子10名、女子21名の合計31名が内定を頂きました。企業は、明るく元気で健康であることはもちろんのこと、コミュニケーション能力や行動力、調整力、協調性や主体性を求めています。今年度も、計画的に就職活動に取り組みむことで内定を勝ち取ってほしいと思います。

そして、近年、本校生徒の進路先の特徴として見て取れるのが、公務員希望者の多さです。本校には専門学校と連携し、年間40回を超える講習会やさまざまな自治体の採用説明会など充実したサポート体制があります。結果として、昨年度の卒業生は、延べ総数で33名の最終合格をいただいております。これは、他校と比較をしても圧倒的な数であると思われま

す。今年度の3年生の進路希望は、4月15日現在、民間就職34名、公務員44名、大学・短大152名、専門学校36名、その他未定4名となっております。大学・短大志望者の中で推薦入試を希望している生徒数は増加傾向にありますが、コロナ禍ということも影響しているのか、民間就職、公務員を志望する生徒が増加傾向にあります。今後も、生徒の進路実現に向けて引き続き支援していきたいと考えています。

同期会だより

東京2020聖火リレーに参加して

川戸 政角(Y昭45卒)

今年の1月25日にメールが届きました「3月25日からスタートする東京オリンピック聖火リレーですが、新日程に伴い、スケジュールの都合等による辞退者が出たため、東京2020オリンピック聖火リレーランナーに選ばれました！おめでとうございます！」メールは聖火リレーパートナーのトヨタ自動車株式会社からでした。最初はフェイクニュースかと思いましたが、その後、組織委員会からもメールが届き諦めていたリレーランナーに本当に選ばれたのだと興奮した覚えがあります。

私がオリンピック組織委員会に提出した志望動機は・・・

1. 富士見台ミニバスケットボールクラブ(横浜市保土ヶ谷区)を1994年に創設し現在まで代表と監督を兼任(延べ参加者700人)、横浜市西スポーツセンターにてミニバスケットボール教室の指導者として2012、9、2015、3迄実施(延べ参加者360人)、横浜カップ全国ゴールデンシニアバスケットボール交歓大会を創設・運営(男子60歳+の大会)後援に神奈川県他(延べ参加者1600名)
2. シニア大会では現役選手として海外(WMGなど)、国内大会に参加し

今後は70歳+の海外大会に参加を目

創業88年の
パッケージメーカー

横浜リテラ



4月より新第2工場が本稼働!
詳しくはコチラから



ご相談・お見積りなどお気軽にお問い合わせください

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町1965-4 TEL:045-811-2821

指す

3. 子供たちからシニア世代までバスケットボールを通じて健康、仲間、社会貢献の切さを伝えたいという内容でした。

史上初めて延期された東京2020オリンピック、パラリンピック。私は延期のおかげで幸運が舞い降りました。競技の観戦を心待ちにしながらスポーツの「する」「見る」「ささえる」が生み出す感動を共有したいと楽しみにしていました、1都3県などが無観客となり大変残念な思いで一杯です。

最後になりますがY校時代はバスケットボール部に所属し石川先生、諸先輩に大変お世話になったことを覚えていています。バスケットボールと出会えたことに感謝しています。



ラミレス氏(元バイスターズ監督)と共に

Y校昭和四十三年卒

「幻?」の「第1」同期会

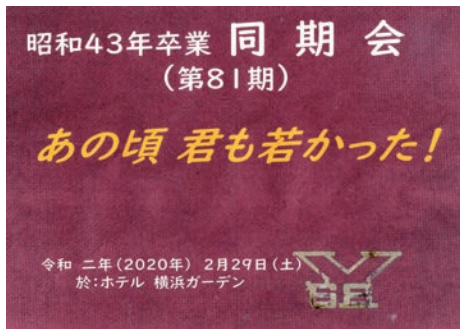
高橋 正美 (Y昭43卒)

令和元年十月十二日。卒業五十一年目にして初めての同期会を開催する予定でした。この日のために、五十嵐裕子さん(進交会理事)を中心に、各クラス代表

十八名の幹事団と進交会事務局安川さんのご協力を頂き、約一年半準備を進めてきました。山田瑛先生・同期生一〇六名の参加申込みを頂き、盛大に開催する予定でしたが、なんと台風十九号の直撃予報を受け急遽延期。検討の結果令和二年

二月二十九日に開催を決定しましたが、今度は新型コロナウイルスの蔓延。万全を期してこれが終息するまで再延期を決定しました。この間幹事の皆さんと安川さんには幹事会・会場との調整・リハーサル・参加申込者への変更連絡等々ご尽力頂き、また、ホテル側窓口の井上高也さん(Y硬式野球部出身)には、度重なる日程変更とキャンセルにも快く対応頂き感謝に堪えません。紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。

Y昭和四十三年卒の皆様、第一回同期会の日程が決まりましたら、是非ご参加ください。再会を楽しみにしております。



スライドショーの表紙



参加者にお渡しする予定だった記念品

Y44元氣会

(昭和44年卒の皆さん元氣かい?)

安川 栄一 (Y昭44卒)

古希を迎え、毎月定期的に集合してお互いの元気を確かめ、語りを楽しもうという試みです。

『とにかく、会って話を!!』 ポケ

防止に役立つかも!!』をスローガンに掲げ、7組飯田武幸君の発案で令和2年9月からスタートしました。

★ 開催日…

毎月第2土曜日15:00~

★ 場所…

進交会館2階「みなと倶楽部」

★ メンバー…

各組のクラス会幹事の方を当方が勝手に基本メンバーとして位置づけ、各幹事が自由に級友を誘い参加してもらおう

★ 開催実績…

令和2年9月、10月(台風襲来の為中止)、11月、4月

※非開催月は緊急事態宣言、まん延防止重点措置によりやむなく中止としました。

【Y44 古希の会】

令和4年(来年)ワクチン接種終了後の開催を計画しています。
※各クラス幹事の方、ご協力の程よろしく願います。

麵処 おおぎ (進交会館1階)



◎馬車道・横浜市役所前店(進交会館1F)
横浜市中央区相生町6-111 電話 045-681-2152

◎大通り公園前本店
横浜市中区蓬萊町1-1-3
電話 045-243-0390

◎常磐町店
横浜市中区常磐町3-22-3
電話 045-232-4040

tatesin

商業施設・オフィス・リノベーション・設計施工

株式会社タテシン

会長 渡辺清和

(Y校 昭和45年卒 バドミントン部)

一級建築士事務所

〒 232-0022 横浜市南区高根町4-29

☎045-242-1320 ☎045-262-4026 (不動産部)

アフターコロナの同期会・クラス会

武田 満明（Y昭47卒）

皆さん、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。この1年半、新型コロナウイルスの影響で色々な行事・イベントが中止・延期となり、楽しみを取上げられた子供のよう過ぎ過ぎてしまいましたが、ワクチン接種も徐々に進み、平常に戻るまでもう少しでしょう。アフターコロナとなりましたら、まずは昭和47年卒業の皆さんと、70歳(古希)同期会の開催準備にかかりたいと思っています。前回65歳時の同期会・その前の60歳(還暦同期会)ともに各クラス幹事の皆さんのご努力で、百名規模の参加者で盛大に開催できました。まだ2年程先のことですが、案外あつという間に時間は迫ってくるので、気持ちだけでも早めに準備したいものです。

毎年末に開催されるY校会の集いが、来年はY校創立140周年記念を兼ねて開催されるようです。できれば各クラス幹事の方々に声をかけて、久々に顔を合わせて同期会の準備などについて打ち合わせを始められればと思っています。その際は改めてご連絡しますのでよろしくお願ひします。

また、新・進交会館が今年二月に完成して、まだご覧になっていない方が多いと思います。2階のラウンジ「みなと倶楽部」は卒業生ならだれでも利用できますからクラス会やその打ち合わせなどに、利用してみたらいかがでしょうか。

私の卒業クラス（8組）では、名幹事役下村君のご尽力で、これまで毎年3・

4回クラス会を開催しうち一回は温泉などへ泊りがけで行っていました。

幸い、クラス担任であった永井先生もご健在で毎回ご参加いただいております。そのクラス会の再開もアフターコロナの楽しみです。

同期の他のクラスでも1・2・4・7組等では定期的にクラス会を開催しているとお聞きしてましたので、皆さん楽しみにされていることでしょう。

この会報が皆さんのお手元に着くころには、さらに状況が快方に向かっていることを期待しています。

これからもY校卒の皆さんと共に、楽しい時間を共有して行きたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

再会を楽しみにしています。



第2回 同期会



山梨県昇仙峡にて (8組クラス会)

Y校昭和48年卒同期会中止について

大宮 勲（Y昭48卒）

令和2年度に第二回同期会開催を予定しておりましたが、コロナ新規感染防止の為、止む無く中止とせざるを得ませんでした。

まだまだ予断を許さない状況下ではありますが、一日も早いコロナの終息を願ひ、皆様にお会い出来る日を楽しみにしています。

Y校昭和54年卒業（第92期）

同期会を令和4年10月に開催します

（Y昭54卒 幹事一同）

令和4年10月15日（土）17時より開催が決定しました。次回の同期会は第6回目にあたり、当初還暦祝いも兼ねての開催を令和2年11月に計画していましたが、度重なるコロナ禍のため残念ながら2度にわたる延期を幹事会総意で決定しました。

1995年に第1回同期会を開催以降、5年ごとに開催しており毎回120名余りの参加を得ています。その運営を担っている幹事は各クラスから選出されており、進交会館会議室をメイン会場に毎回和やかに幹事会を開催しています。同期には現在Y校で講師として教鞭に立つ杉崎君がおり、クラス幹事としても協力をいただいております。

前回第5回2015年開催時は、記念写真撮影において現役Y校写真部の皆さんの協力もいただきました。また開催案

内文中に「素敵な情報をお知らせください」と題し、同期生が紹介したい情報等を持ち寄り会場内でPRできる場を提供しました。

私たちも卒業後40年が過ぎ、所在が把握できない同期生もいますが、この紙面をご覧いただいた方々で日頃親交のある同期生の皆さんに、来年開催の同期会について声を掛けていただければと思います。多くの同期生の参加を期待しています。

92期担任の先生方

- 1組 飯島 猛先生 2組 西村 隆男先生
- 3組 笠原 通先生 4組 遠又 安雄先生
- 5組 加納 和明先生 6組 山根 聡子先生
- 7組 永井 滋先生 8組 瀬尾 正先生

進交会 囲碁クラブからのお知らせ

当クラブは現在、登録会員36名で毎週火曜日と土曜日の午後、進交会館3階で、週例会会を行って居ります。

是非この機会に皆様からの当クラブへのご加入を、歓迎いたします。

詳細は……進交会事務局まで

☎045168116575

会長 名塚 三郎（Y昭20⑤）

直近5年間 同期会開催状況

(令和3年7月現在)

卒年	直近5年間開催状況 (進交会報掲載記事から抜粋)			今後の開催予定 (対象会員よりランダムに聞き取り)
	名称	開催時期	会場	
昭29年	傘寿の同期会	平28年4月	崎陽軒本店	
昭33年	第6回同期会	令1年5月	迎賓館	令和4年予定 (3年ごとに開催)
昭38年	38会	平29年10月	ロイヤルパークホテル	
昭39年	古希の集い	平27年5月	キャメロットジャパン	
昭40年	同窓会	平30年10月	ナビオス横浜	Y校入学60周年 今後詳細決定
昭43年	令和2年、3年開催予定も中止、延期			同期会 令和4年予定
昭44年	同期会 (65才)	平28年4月	ローズホテル	同期会 (70才古希) 令和3年開催を延期し、令和4年予定
昭45年	同期会 (65才)	平29年9月	ローズホテル	同期会 (70才古希) 令和3年開催を延期し、令和4年予定
昭46年	同期会 (65才)	平30年4月	ローズホテル	同期会 (70才古希) 令和4年予定
昭47年	同期会 (65才)	令1年6月	ナビオス横浜	進交会報記事あり
昭48年	同期会 (60才)	平27年5月	重慶飯店	令和4年予定
昭49年	同期会 (60才還暦)	平27年11月	ナビオス横浜	
昭50年	同期会 (60才還暦)	平28年10月	大陸飯店	
昭54年	同期会	平27年8月	崎陽軒本店	令和4年10月予定 (進交会報記事あり)
昭55年	同期会 (55才)	平28年11月	ローズホテル	
昭56年	同期会 (入学40年目)	平30年5月	ニューグランドホテル	
昭62年	卒業30年同期会	平28年10月	新横浜国際ホテル	
昭63年	卒業30年同期会	平29年		

同期会開催状況

コロナ禍収束で同期会開催ラッシュを！！
 令和2年・3年の我慢の年から飛翔し、同期会の開催で友情の輪と語らいを復活推進しよう。

Y校OB会だより

Y校バレーボール部OB・OG会

「もうしばらくお待ちください！！！」

五十嵐 裕子 (Y昭43卒)

平成30年・春からの進交会館建て替え工事の為、この年は中華街・龍翔記で開催したOB・OG会。再会は、新進交会館でと約束しました。

ところが、令和2年3月の落成式前には、新型コロナウイルス感染症が拡大し5月に開催予定でしたが、収束するまで延期することになりました。

その後、飯塚代表や北田さんとも、何度か幹事で開催日を打ち合わせする話が出る度、新型コロナウイルス感染症は拡大していききました。

そして、平成3年になっても収束できず、今日に至っております。

Y校バレーボール部OB・OG会の皆様の母校愛は、語り尽くせない程のひとりの繋がりにあります。思い出話の中にも、先輩・後輩を思いやる会話・笑顔に心が和み、励ましていただきました。

前回、中華街でのOB・OG会に出席して下さった、渋谷重夫様、大原利夫様、麻生勉様、沖田光弘様も、令和2年に他界されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

まだ、次回開催日は決定できませんが必ず開催いたしますので、暫くお待ちください。早く、皆様にお会いしたいです。新しくなった進交会館「みなと倶楽部」や会議室を見ていただきたいと思います。

Y校会だより

☆Y校会について

- Y校会とは？ ↓ Y校会は一般社団法人進交会の内部組織としてY校の卒業生全員を対象として平成9年に発足しました。
- 目的は？ ↓ Y校会は母校Y校及び在校生への支援と会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。
- 会費は？ ↓ 年間1,000円以上(上限はありません、任意です)の会費の納入をお願いしています。
- ※進交会会費(終身会費30,000円または年会費3,000円)とは別枠になります。
- 会費納入者数は？ ↓ 現在、約500名ですが、1,000名体制にすべく募集中です。
- この機会に、是非、Y校会会費の納入にご協力をお願いします。
- ☆お問合せ・詳細は・・・
Y校会事務局 (安川(昭44卒)
杉本(昭55卒)迄
電話0456816575

☆Y校会活動について

【横浜市大「新型コロナウイルス緊急対策基金」に25万円の寄付を行う】
 令和2年12月に寄付を実施しました。

コロナ禍で緊急事態の市大病院と困窮する学生を支援するためです。

【Y校会海外研修奨学金の支援】

海外研修を目指すY校生。その志に応じて、ニューヨークへの研修生に1名10万円、総額20万円を支援。
 台湾への研修生には1名5万円、総額10万円を毎年支援しています。

【Y校生のSDGs 活動支援】

今年度は総額20万円を支援。

【主な行事・親睦会】

- 5月 社会見学会 (中止)
- 7月 歌舞伎鑑賞教室
- 8月 暑気払い (中止)
- 10月 Y校祭 Y校会ルーム開設 (生徒のみで開催)
- 12月 Y校会の集い (中止)
落語鑑賞会 (未定)

【 収 入 】

(単 位 円)

科 目	一般会計	母校支援基金	合 計
前期繰越	1,499,036	4,274,282	5,773,318
Y校友会費入金分(2020年分)	1,145,797		1,145,797
利息	5	34	39
合 計	2,644,838	4,274,316	6,919,154

【 支 出 】

科 目	一般会計	母校支援基金	合 計
募参年会費用	54,520	0	54,520
会議費	26,847	0	26,847
郵送費	132,626	0	132,626
郵便局振替手数料	440	0	440
ニューヨーク海外研修奨学金	0	100,000	100,000
振込手数料	68,669	0	68,669
その他事業費	85,492	0	85,492
慶弔・見舞金	36,500	0	36,500
市大コロナ寄付金	250,000	0	250,000
合 計	655,094	100,000	755,094
次期繰越	1,989,744	4,174,316	6,164,060

※ 令和2年度は以下の行事が中止または活動停止となりましたので支出がありません。
 ・ 総会 ・ Y校祭 ・ Y校会の集い ・ 部活動・同期会支援金 ・ 台湾海外研修奨学金

◆ Y 校 会 令 和 2 年 収 支 報 告 書
 (令 和 2 年 1 月 1 日 ~ 令 和 2 年 1 2 月 3 1 日)

Y 校 卒 業 生 の 年 度 別 進 路 状 況

◎ 平成6年に就職者と進学その他の人数が逆転しています。

昭和48年～50年の進学・その他人数の増加は「第1次オイルショック」の発生、平成6年の就職者と進学・その他人数の逆転現象は平成3年～5年の「バブルの崩壊」等による経済、雇用状況が影響しているのではないかと推測できます。

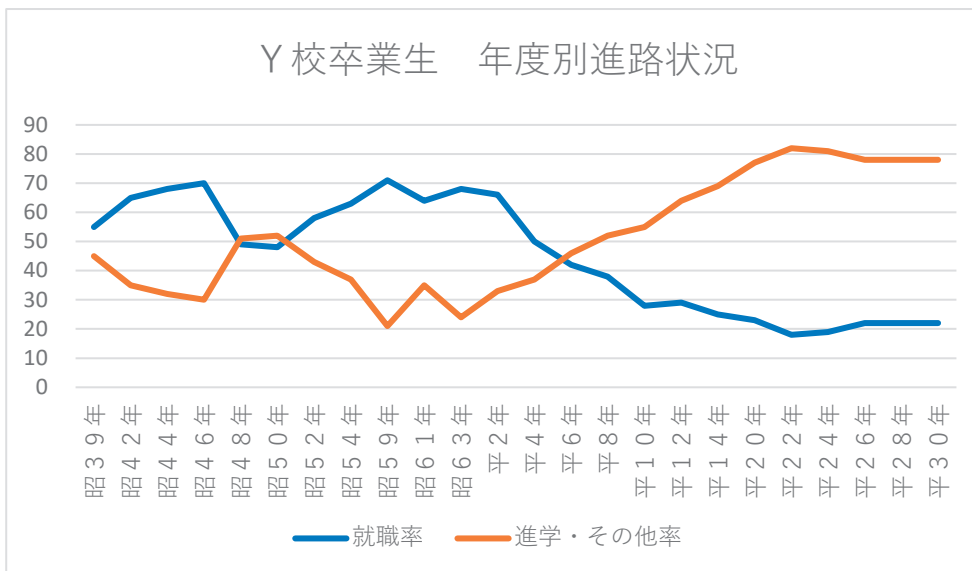
Y校卒業生 年度別進路状況

卒 年	卒 業 生 数	就 職 者		進 学 者 ・ そ の 他	
		数	%	数	%
昭39年	388	213	55%	175	45%
昭42年	375	242	65%	133	35%
昭44年	399	273	68%	126	32%
昭46年	393	274	70%	119	30%
昭48年	361	178	49%	183	51%
昭50年	342	165	48%	177	52%
昭52年	360	207	58%	153	43%
昭54年	362	229	63%	133	37%
昭59年	354	250	71%	76	21%
昭61年	352	224	64%	124	35%
昭63年	353	241	68%	84	24%

卒 年	卒 業 生 数	就 職 者		進 学 者 ・ そ の 他	
		数	%	数	%
平2年	370	243	66%	121	33%
平4年	379	188	50%	139	37%
平6年	352	149	42%	162	46%
平8年	316	120	38%	165	52%
平10年	324	92	28%	177	55%
平12年	270	78	29%	172	64%
平14年	269	68	25%	186	69%
平20年	273	64	23%	209	77%
平22年	273	49	18%	224	82%
平24年	269	51	19%	218	81%
平26年	269	58	22%	211	78%
平28年	273	60	22%	213	78%
平30年	273	61	22%	212	78%

※昭和39年～59年の数値はY校時報から抜粋、昭和61年～平成30年の数値はY校学校要覧から抜粋し掲載。

Y 校 卒 業 生 年 度 別 進 路 状 況



訃報

平成12年 水口 政司 (昭37)
 平成15年 藤井 弘 (昭28)
 平成16年 若林 敏郎 (昭17)
 平成22年 山田 三郎 (昭15)
 平成24年 富田 彦太郎 (昭16)
 平成26年 荒井 芳夫 (昭30)
 石井 悟 (昭18)
 平成28年 平中 正治 (昭29)
 平成29年 平井 順 (平2)
 忍足 喜一 (昭29)
 土門 幸子 (昭29)
 大里 俊男 (昭20⑤)
 平成30年 楠崎 信夫 (昭28)
 木下 正美 (昭29)
 秋浜 雅彦 (昭26)
 藤井 俊雄 (昭34)
 川上 和子 (昭37)
 目代 充宏 (昭38)
 平成31年 熊谷 隆子 (昭40)
 海老原 善徳 (昭26)
 青木 佐紀子 (昭29)
 小金井 晟吉 (昭27)
 芝崎 一寿 (昭31)
 令和元年 谷本 清 (昭16)
 山田 稔 (昭23)
 窪田 照男 (昭28)
 加山 尚男 (昭37)
 小松 孝之 (昭42)

山内 英輝 (昭43)
 後藤 輝男 (昭47)
 令和2年 重田 富太郎 (昭15)
 大塚 寿一 (昭20④)
 平戸 幹男 (昭20④)
 渡邊 和幸 (昭20④)
 内橋 真治 (昭22)
 鈴木 昭三 (昭22)
 川喜多 勉 (昭23)
 藤巻 勇次 (昭23)
 山口 行成 (昭23)
 石井 博 (昭25)
 駒田 正藏 (昭25)
 内田 和男 (昭26)
 高木 正夫 (昭26)
 金田 光雄 (昭27)
 河西 勇 (昭27)
 河原 寛 (昭27)
 日比 康雄 (昭27)
 秋山 富子 (昭27)
 佐藤 保之 (昭28)
 藤森 康男 (昭28)
 大原 利夫 (昭29)
 白木 浩二 (昭29)
 吉村 保宣 (昭30)
 嶋田 志津子 (昭30)
 金子 勇夫 (昭31)
 永山 秀明 (昭31)
 笛吹 静夫 (昭31)
 及川 宏輝 (昭31)
 大和田 忍 (昭31)
 関口 孝雄 (昭32)
 南口 明稔 (昭32)
 山田 修久 (昭32)
 中利 正美 (昭33)
 清水 文男 (昭33)
 清島 崇男 (昭34)
 酒川 静雄 (昭35)

宮阪 みよ子 (昭35)
 関戸 英士 (昭36)
 杉山 洋美 (昭37)
 鈴木 一正 (昭38)
 鈴岡 賢 (昭39)
 島崎 勝代 (昭39)
 谷田貝 美江 (昭39)
 浅田 正敏 (昭40)
 曾根 勲 (昭40)
 品川 季子 (昭40)
 仁平 勤 (昭42)
 元田 ナミ (昭44)
 萩原 敏男 (昭45)
 令和3年 粕谷 友一 (旧職員 昭12)
 河原 康典 (昭20④)
 二見 嘉典 (昭20④)
 小山 康男 (昭26)
 浅場 敏男 (昭27)
 天野 健 (昭27)
 黒沢 敦 (昭28)
 蕪木 秀敏 (昭29)
 神谷 幸宏 (昭30)
 川嶋 鉄子 (昭30)
 細谷 彰 (昭31)
 井上 輝之 (昭33)
 嶋田 信子 (昭33)
 永塚 隆雄 (昭34)
 一條 幸 (昭37)
 大川 俊春 (昭38)
 横山 昭男 (昭42)
 赤城 美枝子 (昭43)
 不明
 小林 晴男 (昭11)
 小辺 利子 (昭26)
 渡辺 利子 (昭41)
 植松 葉子 (昭41)

編集後記

菊香る候、進交会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
 今回、進交会報第87号をY校版と市大版の分冊発行としました。進交会理事長挨拶の通り、一人でも多くの会員にお読みいただき、母校愛を深め、進交会(同窓会)への意識高揚を願っております。
 進交会報が会員の情報交流に役立ち、併せて、進交会館みなと倶楽部が会員の皆様の交流の場に活用されるよう願っております。分冊についてのアンケートを同封しましたので、忌憚のないご意見等をお寄せください。

また、進交会ホームページを一新し、進交会の名称の由来とともに、Y校版・市大版の両方を掲載しました。市大版には、来る横浜市大百周年に向けて「Y専の歴史」を掲載しましたので、ぜひ、ご一読のほどお勧め申し上げます。

令和三年二月に、長く進交会報編集委員をされた嶋田信子様(Y校昭和33年卒)がご逝去されました。紙面をお借りして、長年のご尽力に深謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

コロナ禍の収束や進交会活動の再開、皆様のご健康をお祈りしております。
 末尾となりましたが、ご寄稿・広告掲載いただきました方々に厚くお礼申し上げますとともに、皆様から会報やホームページへのご寄稿をお待ちしております。

会報・HP委員長

桑原正子(市大文昭41卒)

まごころ・信頼・サービスをお届けします。



株式会社 横濱屋

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー
- 業務スーパー

〒232-0016
 横浜市南区宮元町4丁目93番地 TEL 045(741)4747

Y校から今日(イマ)を目指して職人に賭けた『一生』
 質実剛健を旨とし誠を尽くす職人になろうと
 今、創業104年
 量と模、小修理の専門店。和の文化を守る。

森下和装工業株式会社

代表 森下 正勝

昭37年Y校卒(硬式野球部)

〒245-0004

横浜市泉区領家3-9-7 電話 045-811-4696



森下正勝 著 (文芸社)
 『戦後日本の 光と影』 絶賛発売中